

# Voice

## ～ 海から学ぶ教育効果 vol.7 ～

YMCA 阿南国際海洋センターをご利用いただく幼稚園・各種学校・各種教育団体のみなさまから、実際の活動を通して得られる効果や参加者の変化・成長など、「海から学ぶ教育効果」についての『Voice』をお聞きしました。



大阪国際大学 名誉教授  
**世戸 俊男 先生**

### 『自ら成長できる機会、キャンプ』

1968年大阪YMCAは、阿南国際海洋キャンプ場を開設した。当時の構想を大阪YMCA100年史より紐とくと「水泳の訓練はもとより、ヨット、カッター、カヌーの操船技術の指導などが重点的に行われ、また、海洋に関する自然研究や海事知識の修得に必要な実際的なプログラムが多種多彩に進められる。その目的は、新しい時代に生きる青少年に、果てしなく広がる夢を与え、太平洋の黒潮にも似て、何にも負けない気力と体力を育てる事であった。」と記述されています。プロジェクトを指揮し、経営、プログラム開発、人材育成を先駆的に実施された酒井哲雄先生は「いま未知の世界に船出する気持ちである。」と伝えておられます。我が国は、高度経済成長期を得て1996年文部科学省では、「青少年の野外教育の充実について」（報告）等により野外教育の重要性を指摘され。自然や環境問題、教育問題が発生する中、野外教育は「生きる力を共に育む」事が啓発できる教育の場である事が明らかになった。

大阪国際大学人間科学部スポーツ行動学科では、「海洋・スポーツ実習」科目をYMCA阿南国際海洋センターにて開講した。教職を目指す学生にとっては、総合学習や野外活動・環境教育のカリキュラム作成や演習に必要な体験学習・演習の場となり、多様化、個別化する社会の中にあっては、学生自身が自ら、考え、交わり、行動する事を実践体験し自らが成長できる貴重な場所と考えられます。実習に参加した学生は、帰阪後、ボランティア活動や防災活動など、様々な感じ方で行動し、地域社会・大学で社会活動を始めた機会となっている。「若者が変われば世界が変わる」と言われる。その機会と場所、指導力をさらに創り出す事が必要と考えています。

⚓ 「それ錨あげ 波乗りこえて 乗り出せ わが海原へ」

